



移住定住サポートデスク

きほう健康ぷらざ内に移住相談や空き家調査などを行う移住定住サポートデスクを設置しました。



企業版ふるさと納税

令和5年度には企業版ふるさと納税を活用して車両を1台寄贈いただきました。



ICT 機器を活用した授業

町では、一人一台の学習端末、各教室に電子黒板を整備するなど、ICT 機器を活用した授業を行っています。



町有地の造成

町では令和6年度に鵜殿上野平地区にて7区画の造成工事を行いましたので、令和7年度に分譲を進めていきます。

今後におきましても、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や新たに基本構想が策定される予定であります「地方創生2.0」に基づき、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用し、魅力あるまちづくりを進め、人口減少対策をはじめとした各種施策を展開してまいります。

今後におきましても、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や新たに基本構想が策定される予定であります「地方創生2.0」に基づき、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用し、魅力あるまちづくりを進め、人口減少対策をはじめとした各種施策を展開してまいります。

地方創生

地方創生につきましては、人口減少に歯止めをかけ、将来に向けたまちづくり計画の長期展望と方向性を示すため、令和4年4月に策定いたしました「第2期総合戦略」に基づき、子育て、移住定住、商工観光などの様々な取り組みを進めているところであります。

策定にあたりましては、町民のみなさまのご意見も伺いながら、町の目指すべき将来像を定めてまいりたいと考えております。

また、国は令和7年度から、带状疱疹ワクチンを定期接種に含める方針を示しました。定期接種の対象者は、原則として65歳の高齢者と、H1V（ヒト免疫不全ウイルス）

また、国は令和7年度から、带状疱疹ワクチンを定期接種に含める方針を示しました。定期接種の対象者は、原則として65歳の高齢者と、H1V（ヒト免疫不全ウイルス）

予防接種

予防接種費用の補助につきましては、小児インフルエンザワクチンを、新たに町内在住の生後6か月から18歳までを対象に1接種につき1,500円、13歳未満は2回、13歳以上は1回を補助してまいります。

子育て用品の支給

安心して子どもを産み育て、次世代を担う子どもの健やかな成長をまち全体で応援することを目的に、1歳児までの乳児を養育している家庭へ紙おむつなどを支給する「子育て用品支給事業」を令和6年度に引き続き、令和7年度におきましても実施してまいります。

令和6年度からは、従来から取り組んでまいりました各種支援制度に加え、金融

移住・定住対策

移住・定住対策につきましては、人口減少対策や地域活性化に繋げるため、近年は都市部における移住相談会への参加や出逢い交流イベントの開催、各種支援制度の整備など様々な施策を講じております。

令和6年度からは、従来から取り組んでまいりました各種支援制度に加え、金融

令和6年度からは、従来から取り組んでまいりました各種支援制度に加え、金融

企業版ふるさと納税

また、国が認定した地方公共団体における地方創生の取り組みに対し、企業が寄付等を行った場合に法人関係税が控除される制度である「企業版ふるさと納税」の受け入れを令和5年度より開始しており、令和6年度につきましては、新宮紀宝道路開通記念イベント、雇用の創出・商工業の振興、健康づくり事業にご賛同いただきました9社の企業様からあわせて440万円のご寄付をいただいております。

GIGAスクール

「まちの誇り」である高齢者の健康を守り、「まちの宝」である子どもたちが安心して日常生活や学校生活などが送れるよう、集団生活の場での流行を防ぎ、感染症から守ってまいります。

「まちの誇り」

このほか、おたふくかぜワクチンにつきましては、現行では、対象者が4歳未満で補助金額が3千円、接種回数1回分として補助しておりますが、対象者を1歳以上就学前児童で補助金額を4千円、接種回数を2回分にそれぞれ拡充してまいります。

加えて、町では定期接種の対象外となる66歳以上の方に對し、不活化ワクチン1接種につき1万円を2回、生ワクチン1接種につき4千円を補助してまいります。

さらに、既に65歳を超えられている方につきましては、経過措置として令和11年度までの5年間、70歳から5歳刻みの年齢の方が定期接種の対象となります。

また、移住・定

また、移住・定

また、移住・定

また、移住・定

地域振興・防災健康拠点施設

一般国道42号「紀宝熊野道路」沿いに整備を検討している「地域振興・防災健康拠点施設」につきましては、国土交通省とも緊密に連携を図りながら基本構想および基本計画を策定し、防災・医療・産業や観光などのあらゆる機能をもちあわせた拠点施設としての基本概念・めざす施設の

防災健康拠点施設

一方、ICT関連の進歩は目覚ましいものがあり、端末の機能や性能も日々発展していく中で、児童生徒の学びをより一層深化させ、未来を担う子どもたちの育成につなげるため、令和7年度にGIGAスクール端末の更新を行い、これらのICT関連機器とこれまで培ってまいりました教育実践を組み合わせることにより、さらなる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

一方、ICT関連の進歩は目覚ましいものがあり、端末の機能や性能も日々発展していく中で、児童生徒の学びをより一層深化させ、未来を担う子どもたちの育成につなげるため、令和7年度にGIGAスクール端末の更新を行い、これらのICT関連機器とこれまで培ってまいりました教育実践を組み合わせることにより、さらなる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

また、移住・定

また、移住・定

また、移住・定

また、移住・定

総合計画・総合戦略

平成29年3月に「第2次紀宝町総合計画」を策定し、町の将来像である「海・山・川の恵に抱かれ、ともに輝き創造するまち」一人ひとりがきらりと輝き、みんなが主役のまちづくり、まちづくりの基本理念である、「安全・安心」、「住民が主役」、「信頼される行政」の実現を目指すために各種施策を展開してまいりました。

本計画が令和8年度に最終年度を迎えますため、新たに令和9年度から計画期間とする「第3次紀宝町総合計画」および「第3期紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、令和7年度から2年間かけて策定作業を進めてまいります。

令和7年度におきまして

